令和５年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

音　楽　　1／5枚中

注意　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。

（放送による問題について）
・第２問題は放送による問題です。
・放送は試験開始40分後に始めます。

第１問題　次の指示に従い、Ⅰ、Ⅱのいずれかを解答せよ。

・中学校受験者は、Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］を解答すること。
・高等学校受験者は、Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］を解答すること。
・特別支援学校受験者は、Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］または、Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］のいずれかを選択して解答すること。

Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］

問１　次の文は、中学校学習指導要領（平成29年告示）（以下「中学校指導要領」という）の一部である。後の（１）～（３）に答えよ。

「第２章　第５節　音楽　第２　各学年の目標及び内容　第１学年　２内容　A表現」

A　表現
（略）
（３）創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、①創作表現を創意工夫すること。
イ　次の（ア）及び（イ）について、表したいイメージと関わらせて理解すること。
（ア）音の［ a ］方の特徴
（イ）［ b ］の特徴及び音の［ c ］方や反復、変化、［ d ］などの構成上の特徴
ウ　創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や［ e ］に沿った音の［ f ］や組合せなどの技能を身に付けること。

「第２章　第５節　音楽　第２　各学年の目標及び内容　第２学年及び第３学年　２内容　B鑑賞」

B　鑑賞
（１）鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の（ア）から（ウ）までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。
（ア）曲や演奏に対する評価とその［ g ］
（イ）生活や［ h ］における音楽の意味や［ i ］
（ウ）音楽表現の共通性や［ j ］
イ　次の（ア）から（ウ）までについて理解すること。
（ア）曲想と音楽の［ k ］との関わり
（イ）音楽の特徴とその［ l ］となる文化や歴史、他の芸術との関わり
（ウ）我が国や［ m ］の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の［ n ］

（１）［ a ］～［ n ］にあてはまる語を次のA～Uから選び、記号で答えよ。

A　全体	B　背景	C　役割	D　つながり	E　関わり	F　奏法	G　要素
H　変容	I　条件	J　重なり	K　根拠	L　固有性	M　多様性	N　音素材
O　選択	P　対照	Q　郷土	R　構造	S　声部	T　社会	U　響き

（２）下線部①について、中学校指導要領（平成29年告示）解説「音楽編」（以下「中学校指導要領解説」という）では、どのように創作表現するかについて思いや意図をもつことであると説明している。旋律をつくる際の生徒が表したいイメージと表し方の具体例を、音楽を形づくっている要素や用語を用いて記せ。

（３）中学校指導要領解説の「第２章　音楽科の目標及び内容　第２節　音楽科の内容　２各領域及び〔共通事項〕の内容（２）鑑賞領域の内容　④音楽の鑑賞における批評」において、「音楽科における批評」とはどのようなことであると説明されているか、次の語句を用いて説明せよ。

よさや美しさ　　言葉　　他者

2025 kyosai-guild.jp

Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］

問1　次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）（以下、「高等学校指導要領」という）の一部である。後の（1）、（2）に答えよ。

「第2章　第7節　芸術　第2款　各科目　第1音楽Ⅰ　2内容　A表現」

（3）創作

創作に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、①自己のイメージをもって創作表現を創意工夫すること。

イ　［a］、音を連ねたり重ねたりしたときの［b］、音階や音型などの特徴及び［c］上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。

ウ　創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、次の（ア）から（ウ）までの技能を身に付けること。

（ア）反復、変化、［d］などの手法を活用して音楽をつくる技能

（イ）旋律をつくったり、つくった旋律に［e］な旋律や［f］などを付けた音楽をつくったりする技能

（ウ）音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、［g］や編曲をする技能

（1）［a］～［g］にあてはまる語を次のA～Pから選び、記号で答えよ。

A　和音　　B　他者　　C　構成　　D　評価　　E　特徴　　F　効果的　　G　副次的　　H　変奏

I　対照　　J　社会　　K　調和　　L　固有　　M　要素　　N　条件　　O　音素材　　P　響き

（2）下線部①について、高等学校指導要領（平成30年告示）解説「芸術編」（以下、「高等学校指導要領解説」という）において、指導に当たって留意することとしてどのように説明されているか、次の語を用いて説明せよ。

思考　　手立て　　過程

問2　次の文は、高等学校指導要領解説の一部である。後の（1）～（3）に答えよ。

「第2章　第1節　音楽Ⅰ　4内容の取扱い」

（8）内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、［h］の育成を図るため、②音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた［i］を適切に位置付けられるよう指導を工夫する。なお、内容の「B鑑賞」の指導に当たっては、曲や演奏について［j］をもって批評する活動などを取り入れるようにする。

（略）

(11) 自己や［k］の著作物及びそれらの著作者の［l］を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、音楽に関する［m］について触れるようにする。また、こうした態度の形成が、音楽文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。

（1）［h］～［m］にあてはまる語句を次のA～Nから選び、記号で答えよ。

A　知識及び理解　　B　思考力、判断力、表現力等　　C　主体的に学習に取り組む態度

D　コミュニケーション　　E　インフォメーション　　F　根拠　　G　言葉　　H　他者

I　言語活動　　J　知的財産権　　K　創造物　　L　創造性　　M　固有性　　N　多様性

（2）下線部②について、高等学校指導要領解説では芸術科音楽の学習において、言葉によるコミュニケーションを適切に位置付けることによってどのようなことができると説明しているか、記せ。

（3）上記（11）に関連して、原則として個人が著作者の著作物の著作権は、その没後何年を経過するまでの間存続するか、答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

第2問題　放送の音楽を聴き、次の問に答えよ。

問1　1曲目を聴き、次の（1）～（3）に答えよ。

（1）1曲目を含む組曲名と作曲者名、オーケストラ編曲者名を答えよ。

（2）1曲目の曲名を答えよ。

（3）1曲目の冒頭の部分2小節を拍子や調号を含め楽譜に記せ。(演奏記号は含めなくてよい)

問2　2曲目を聴き、次の（1）～（3）に答えよ。

（1）この曲が含まれる連作交響詩の名前、作曲者名を答えよ。

（2）この曲の冒頭の旋律を演奏する楽器名を答えよ。

（3）この曲の「ブルタバを表す旋律」冒頭の2小節を拍子や調号を含め楽譜に記せ。(演奏記号は含めなくてよい)

問3　3曲目を聴き、次の（1）～（4）に答えよ。

（1）この曲名と作曲者として伝えられている人物の名前を答えよ。

（2）この曲の調子を答えよ。

（3）この曲の冒頭での楽器の奏法について、右手で弾いた後、左手で糸を柱のほうに引き寄せて糸の張力を緩め、音高を半音程度下げたあと、元に戻すことを何というか、答えよ。

（4）この曲を我が国の伝統音楽の特徴を学ぶための教材として扱う場合、音楽における働きと関わらせて理解するために、中学校指導要領の〔共通事項〕に示す「用語」から何を取り上げるか、二つ選んで答えよ。

問4　4曲目を聴き、次の（1）～（4）に答えよ。

（1）この曲名を答えよ。

（2）この曲の音階名を答えよ。

（3）この曲の伴奏として多くの場合に用いられる楽器を漢字で答えよ。

（4）民謡に関する言葉で、歌の旋律の上がり下がりや抑揚、装飾のことを何というか、答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

第3問題　次の楽譜について、後の問に答えよ。

イ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問1　この曲の作詞者名を答えよ。

問2　作曲者について述べた文として正しいものをA～Dより一つ選び、記号で答えよ。

A　東京音楽学校に最年少で入学。1901年に渡独するが、病のため帰国。23歳という若さでこの世を去った。

B　東京音楽学校を卒業。童謡や「雪の降る町を」などの歌曲、ピアノ曲など、幅広いジャンルの曲を生み出した。

C　東京生まれの作曲者、指揮者。日本のオペラと交響曲の普及に努め、海外で自作を発表するなど国際音楽家としても活躍した。

D　東京生まれの作曲家。主な作品にはオペラ「夕鶴」などがある。随筆家としても活躍した。

問3　［ア］にあてはまる歌詞を記せ。

問4　［イ］部分の強弱記号を適切な箇所に記入せよ。

問5　中学校学習指導要領に示されている共通教材を、上記の曲以外で二曲記せ。

問6　この曲の歌唱表現を工夫する学習を行う際に、どのような指導が考えられるか。学習指導の例を、音楽を形づくっている要素を二つ以上用いて記せ。

2025 kyosai-guild.jp

音　楽	5／5枚中

第４問題　次の楽曲について、後の問に答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問１　この曲名と作曲者名を答えよ。

問２　Ⅰのパートをアルトリコーダーで演奏する場合のア、イ、ウ、エの運指を答えよ。

問３　［オ］～［キ］の和音をコードネームで答えよ。

問４　Ⅳのパートをバリトンサクソフォン用の楽譜に書き換えよ。

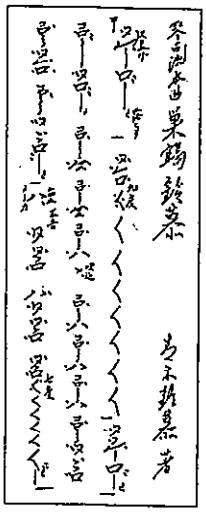
問５　19世紀後半、この曲の作曲者をはじめ、民族主義に基づき積極的に自国の音楽的な素材を用いた作曲者の一派を何というか、答えよ。

問６　この曲を四重奏する際、器楽分野における「技能」に関する資質・能力として、中学校指導要領解説、高等学校指導要領解説では、次のように記述されている。

【中学校指導要領解説】
創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能
【高等学校指導要領解説】
他者との調和を意識して演奏する技能

このような技能の習得に関する学習において、他者と合わせる活動をする際、留意すべきこととして指導要領解説に示されている内容を記せ。

第５問題　我が国や郷土の伝統的な音楽について、次の問に答えよ。



問１　右に示す楽譜は、何の楽器の楽譜か。楽器名を答えよ。

問２　問１の楽器の代表的な奏法の名前を二つ答えよ。

問３　次のＡ～Ｅの曲名・演目名にあてはまる我が国の伝統音楽の種類を、後の［ア～カ］から選び、記号で答えよ。

曲名・演目名　Ａ　京鹿子娘道成寺　Ｂ　鹿の遠音　Ｃ　安宅　Ｄ　陵王　Ｅ　千鳥の曲

伝統音楽の種類　ア　尺八曲　イ　長唄　ウ　雅楽　エ　声明　オ　能楽　カ　箏曲

問４　我が国や郷土の伝統音楽で使用される「弦楽器」「管楽器」について、楽器名をそれぞれ二つずつ答えよ。ただし、尺八及び箏は除くこととする。

2025 kyosai-guild.jp

第１問題

Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］

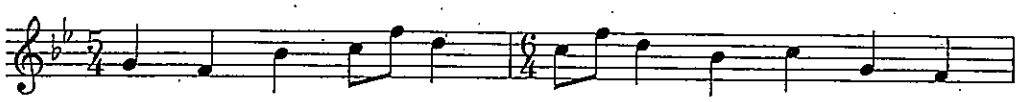
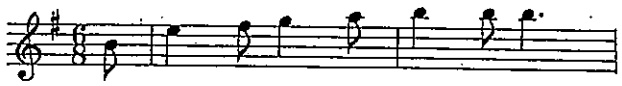
問1	(1)	a	D（1点）	b	N（1点）	c	J（1点）
		d	P（1点）	e	I（1点）	f	O（1点）
		g	K（1点）	h	T（1点）	i	C（1点）
		j	L（1点）	k	R（1点）	l	B（1点）
		m	Q（1点）	n	M（1点）		
	(2)	落ち着きのある穏やかな感じの旋律にするために、四分音符や二分音符を多めに使って旋律をつくる。（3点）					
	(3)	音楽のよさや美しさなどについて、言葉で表現し他者と伝え合い、論じ合うこと。（3点）					

Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］

問1	(1)	a	O（1点）	b	P（1点）	c	C（1点）
		d	I（1点）	e	G（1点）	f	A（1点）
		g	H（1点）				
	(2)	音を機械的に並べたり組み合わせたりしていく活動に終わることなく、創意工夫する過程を大切にして、生徒の思考の流れを把握しながら、適切な手立てを講じ、自己のイメージを創作表現につなげられるよう留意する必要がある。（3点）					
問2	(1)	h	B（1点）	i	I（1点）	j	F（1点）
		k	H（1点）	l	L（1点）	m	J（1点）
	(2)	音や音楽によるコミュニケーションを充実させることができる。（2点）					
	(3)	70年（2点）					

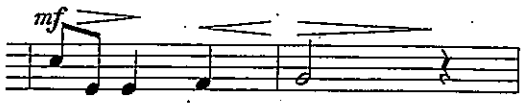
2025 kyosai-guild.jp

第２問題

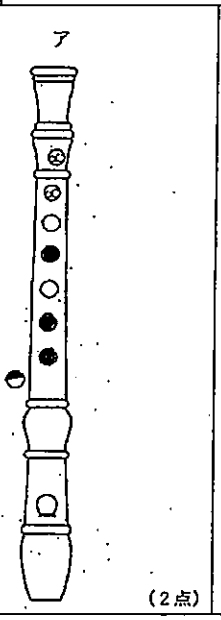
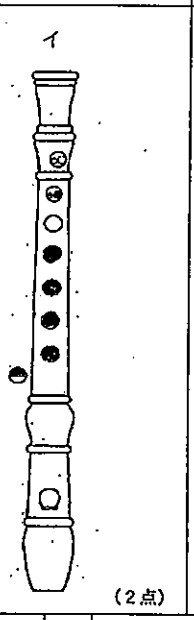
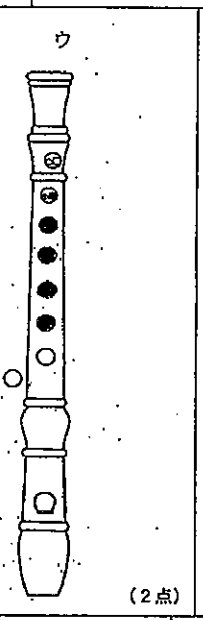
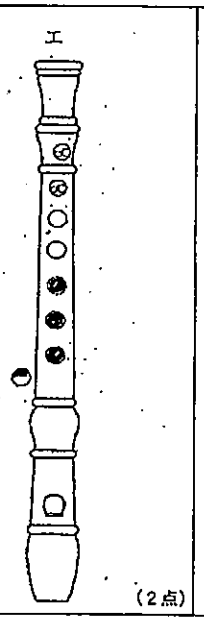
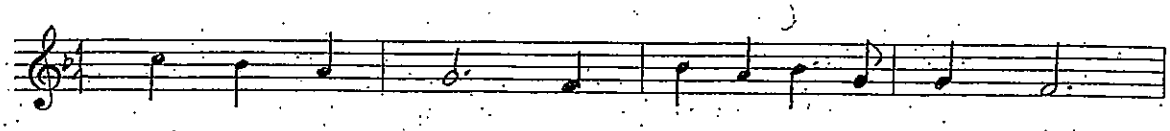
問１	(1)	組曲名	展覧会の絵（１点）	作曲者名	ムソルグスキー（１点）
		編曲者名	ラヴェル（１点）		
	(2)	プロムナード（１点）			
	(3)	 （２点×２小節）			
問２	(1)	名前	我が祖国（１点）	作曲者名	スメタナ（１点）
	(2)	フルート（１点）			
	(3)	 （２点×２小節）			
問３	(1)	曲名	六段の調（１点）	名前	八橋検校（１点）
	(2)	平調子（２点）			
	(3)	引き色（２点）			
	(4)	序破急（１点）		間（１点）	
問４	(1)	谷茶前（１点）			
	(2)	沖縄音階（琉球音階）（２点）			
	(3)	三線（１点）			
	(4)	節回し（２点）			

2025 kyosai-guild.jp

第３問題

問1	作詞者名	三木露風（１点）
問2	C（２点）	
問3	ア	やまのはたけのくわのみを（２点）
問4	イ	 （４点）
問5	荒城の月（２点）	早春賦（２点）
問6	拍子や速度が生み出す雰囲気を感じとり、表現を工夫する指導（３点）	

第４問題

問1	曲名	交響詩「フィンランディア」（１点）	作曲者名	シベリウス（１点）
問2	 （２点）	 （２点）	 （２点）	 （２点）
問3	オ　Ab（１点）	カ　Db（１点）	キ　Gdim（１点）	
問4	 （１点×４小節）			
問5	国民楽派（１点）			
問6	まずは自分が担当する声部の旋律やリズムなどを正しく演奏できるようにしてから、その後他者と合わせて演奏する活動をするというような一方向的な授業にはならないようにすること。（３点）			

2025 kyosai-guild.jp

第５問題

問1	尺八（１点）					
問2	スリ上げ（２点）			コロコロ（２点）		
問3	A	イ（１点）	B	ア（１点）	C	オ（１点）
	D	ウ（１点）	E	カ（１点）		
問4	弦楽器	楽琵琶（１点）		三味線（１点）		
	管楽器	笙（１点）		龍笛（１点）		

2025 kyosai-guild.jp